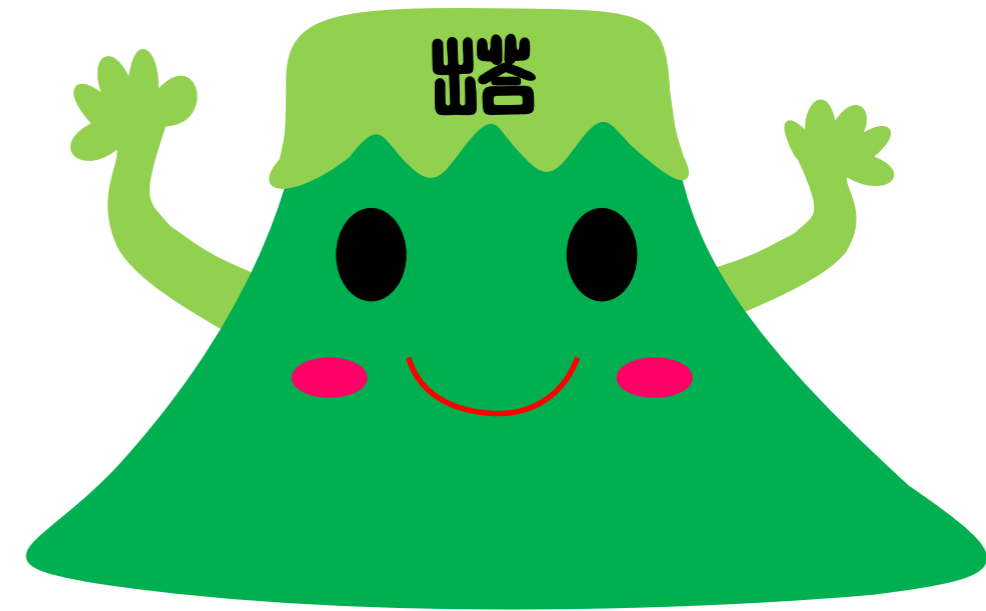


# 塔山小学校 特別支援教室

## きらりルームのご案内

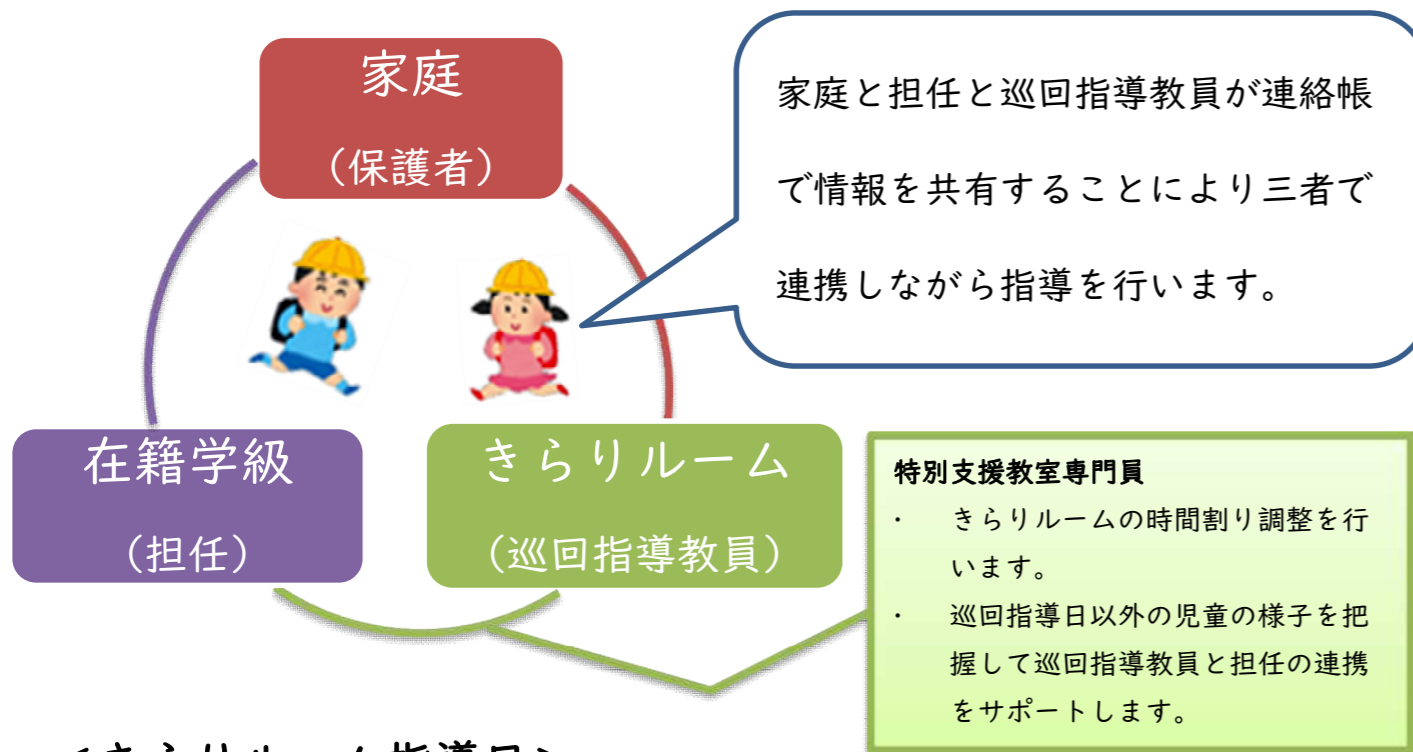


塔山小学校キャラクター：とうやマン

### <家庭との連携：連絡帳>

巡回指導日に巡回指導教員がその日の指導の内容や児童の様子を連絡帳に記録して、お子さんに渡します。ご家庭での様子を記入していただき、担任へ戻していただきます。担任は、巡回指導教員と保護者の皆様が記入した内容を確認し、在籍学級での様子を記入します。

これらの記録をもとに、指導の方法を改善していきます。



### <きらりルーム指導日>

巡回指導教員は複数の学校を担当するため、きらりルームでの指導は、決められた曜日に行います。

連絡帳は、次の指導日に間に合うように持たせてください。

### ★特別支援教室 きらりルームとは★

おおむね学習に参加できるものの、学習や行動につまずきがあるなどで個別の指導を必要とするお子さんのための教室です。

## <きらりルームでの指導とは>

一人ひとりの児童の学校生活における困難を克服・改善するための指導を行い、可能な限り在籍学級で学習や生活がしやすくなることを目的としています。

学習内容は、主に「自立活動（右表を参照）」ですが、これらの項目をすべて指導するわけではありません。一人ひとりのお子さんに必要な項目を選択したり、組み合わせたりして指導をします。

本人、保護者、担任の願い（ニーズ）を共有し、その中から優先課題を絞り込んで、「連携型個別指導計画」を作成します。

週に2時間の指導を基本にスタートします。在籍学級の授業を抜けるリスクも考慮しながら、効果的な形態や時間数を調整していきます。

マンツーマンだけでなく、ペア学習や小集団の形態を取り入れることもあります。

また、在籍学級の授業に巡回指導教員が入り、担任と連携して児童の課題を見取ったり、きらりルームで学習したスキルを使えるように支援したりします。

## 自立活動の学習内容

健康の保持	生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の状態の維持・改善を図る。 <指導例> 生活リズムチェック、物の管理
心理的な安定	自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る。 <指導例> 気持ちメーター 勝ち負けのあるゲーム
人間関係の形成	自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。 <指導例> 行動の振り返り アサーショントレーニング（自分も相手もOKな自己主張）
環境の把握	空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。 <指導例> 自分に合った漢字の練習方法 音読の改善
身体の動き	日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。 <指導例> 体幹トレーニング 身体イメージ（相手との距離）
コミュニケーション	場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。 <指導例> 会話を続けるスキル 授業中に困った時のヘルプの出し方